



よいた



支所だより

第145号

2018.10.15



与板十五夜まつり
秋空の下 開催!



与板十五夜まつり



9月14日～16日



民謡流し



おまつり広場



熱気で溢れた民謡流しから始まった「与板十五夜まつり」は、3日間与板を盛大に盛り上げました。おまつり広場は天気に恵まれ、子どもたちはゲームやアトラクションに夢中になり、ステージイベントでは橘太鼓やダンスなどを楽しみました。鼓笛隊とブラスバンドパレードは、あいにくの雨雲により会場を体育館に変更しましたが、練習の成果を十分に発揮し、観客の拍手でいっぱいになりました。その後の創作みこしは、天気も持ち直し、町内の勢いのあるみこしが街を練り歩きました。



下り屋台



松明走行



絵灯籠



鼓笛隊パレード・ブラスバンドパレード



創作みこし



登り屋台



大人既製の部 最優秀賞 本与板十五夜会

日が暮れてからは、手作りの絵灯籠が街中を照らし、松明走行が与板を勢いよく駆け抜けました。

そして、与板十五夜まつり最大の見せ場である登り屋台が、今年も観客を魅了し、圧倒しました。

与板の秋は行事が盛りだくさん！

与板天地人行列・秋の観光まつり 開催！

秋晴れに恵まれ、今年で11回目を迎えた与板天地人行列が開催されました。公募で選ばれた直江兼続公、お船の方、与板中学生扮する与板衆の「直江兼続隊」と愛ラブ与板手作り甲冑隊の総勢47名が天地人通りやアーケード通りを勇壮に行進しました。

与板衆による槍の演武と大きな勝どきの声、愛ラブ与板手作り甲冑隊のパフォーマンスには観客から大きな拍手が送られました。

「直江兼続隊」は長岡の米百俵時代行列にも参加し、他の隊に負けない堂々とした行進を披露し、大手通りに集まった大勢の観客から声援や拍手を受けていました。

同日開催された秋の観光まつりでは、地域の特産品販売や中之島地域からの出店もあり、大勢の来場者が訪れました。秋の味覚満載の「こけ汁」も振舞われ、見て、味わって、楽しい秋の一日となりました。

(10月6日)





できごと

祝！志保の里荘 来館者 100 万人達成！！



志保の里荘の記念すべき 100 万人目のお客様は、長岡市西千手から来られた渡辺昭二さん、則子さんご夫婦。100 万人目ということをお伝えされると、お二人はとても驚いた様子でした。接客の良さやゆっくりできることから、ご夫婦で気に入っており、「お風呂と言ったらここ！」と、力強くお答えいただきました。

今後も気軽に市内外から利用していただける施設を目指して頑張っていきます。

(9月17日)

来館者 100 万人達成記念！！

10月20日（土）から先着 300 名様に記念タオルをプレゼント！

歩いて気付いた 与板の魅力



与板再発見・歴史文化の掘り起こし事業実行委員会による「城下町与板 歴史文化まちめぐり」が開催されました。

市内外から集まった 209 名の参加者が与板の名所を散策。参加者からは「登り屋台の組立を見学し、貴重な体験ができました。」「楽山苑で抹茶のもてなしに感激しました。」「与板刃物工芸館で、初めて見る刃物に驚きました。」といった感想が聞かれ、与板の魅力に多くの方から気付いていただく機会となりました。(9月9日)





受賞 おめでとうございます

多年にわたり、交通事故の防止と交通秩序の確立に貢献された功績により、小林友子さん（柳之町・写真左）が交通栄誉章「緑十字銅賞」を、坂田八重子さん（船戸・写真右）が県連名表彰を受賞されました。

お二人からは「一人でも事故が減るように」という強い気持ちが伝わってきました。（9月21日）

たったひとつの命を大切に

与板幼稚園で、新潟県警の交通安全教育車「ゆきつばき号」による交通安全教室が行われました。

赤・青・黄色それぞれの信号の意味や、横断歩道の渡り方などを、腹話術・寸劇で楽しく学びました。そして、実際に、信号を見ながら横断歩道を渡る練習も園児たち全員で挑戦しました。

最後には、たったひとつの命を大切にし、交通事故にあわないことをみんなで約束しました。（9月28日）



「僕も私も1日鍛冶職人！」 小学校鍛冶体験教室を実施

与板小学校で越後与板打刃物匠会、越後与板打刃物組合会員ほかボランティアの方による鍛冶体験教室が開催されました。

4年生児童は、打刃物の歴史や刃物作りの工程を映像と説明により学んだり、切出しの成形や切出しを使って鉛筆を削ったりと、ふるさとの工芸品の職人技と切れ味を肌で感じていました。

（9月28日）

長岡開府 400 年記念

「与板を知ろう・長岡を知ろう」 チームわたしのよいた講演会

滋賀県彦根城博物館から学芸史料課長の渡辺恒一氏を講師に迎え、与板藩主 井伊直安の父・大老 井伊直弼や幕末維新における宗家彦根藩の動向などについて、お話しをいただきます。

日時 = 11月18日（日） 午後1時30分～午後3時
 場所 = よいたコミュニティセンター
 演題 = 「井伊直弼と幕末維新の彦根藩」
 入場料 = 無料
 定員 = 150人（申し込み先着順）

申し込み
お待ちしております！



【申】よいたコミュニティセンター ☎72・4114

与板地域食生活改善推進委員が、働く世代を食事で応援しようと、減塩野菜料理の試食を提供しました。これは、(株)サカタ製作所が新潟県の「元いきいき健康企業」に登録したことから依頼を受けたものです。

彩り野菜の磯和えと和風ミネストローネ100人分を社員食堂で配り、「食育の日」と「みどりのおかずレシピ」をPRしました。社員の皆さんからは「普段はこんなに野菜を食べてない」という声も聞かれ、楽しみながら自身の健康を考えるきっかけにてもらえた様子でした。(9月19日)

働く世代の健康づくりを応援！



ちょこっとお出かけ 研修旅行



水道町よらん会で、高齢者複合施設サクラレ福住へ研修に行ってきました。

「住み慣れた与板で暮らしたい。でも、自分や家族に介護が必要になったら、どうしたらいいのかしら？」など熱心に質問をしていました。勉強のあとは、社会福祉センタートモシアへ移動し、カレーセットを食べてお腹いっぱい。秋晴れの空の下、大満足の日でした。(9月28日)



お知らせ

暮らし

資源物の拠点回収を開催

与板地域で資源物の拠点回収を行います。

日時 11月18日(日)

午前9時～正午

会場 与板支所車庫棟

内容 回収品目(家庭から出たものに限りません)

古紙類、びん・缶・ペットボトル、古着・古布、食器類、かばん・ベルト、靴、小型家電、リユースびん、使用済みてんぷら油、ミックスペーパー(食器は紙で包み箱に入れる。古紙は紐で十字に縛る。その他は透明・半透明の袋に入れる)

品目別の対象、出し方は「長岡市ごみと資源物の出し方」(平成27年10月改訂版)の24・25ページをご覧ください。

【問】 市民生活課環境係

☎ 72・3160

このほろ旗が目印



暮らし

野焼きは禁止です！

野焼きの煙による苦情が多く寄せられています。基準に合った焼却炉を用いないで、野外でごみを焼却することは法律（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）で禁止されています。

野焼きは、環境や体に悪影響を及ぼすダイオキシンの発生につながり、悪臭は近隣に大変な迷惑となります。また、火災の原因になった事例もあります。

「ごみと資源物の分け方と出し方」で決められた方法により処理しましょう。

【問】市民生活課環境係

☎ 72・3160

市政

上級救命講習会に参加しませんか

成人・小児・乳児に対する心肺蘇生法、AED（自動体外式除細動器）の使用方法及びその他の応急手当などをします。修了者には、上級救命講習修了証が交付されます。（参加費無料）

日時 12月15日（土）

午前9時～午後6時

会場 長岡市与板消防署

定員 20名 ※要事前申込

【申】 11月5日（月）午前9時から与板消防署救急係で受付

☎ 72・2572



市民活動推進事業補助金をご利用ください（随時受付中！）

市民団体などが行う地域社会のための活動や広く市民が参加できる交流イベントなど、公益的な活動に係る経費の一部を補助します。お気軽にご相談ください。

補助額 対象経費のうち20万円以内は全額、20万円を超える部分は80%（上限100万円）

審査方法 書類審査、ヒアリング

【申】 事前相談の上、活動実施の2か月前までに市民協働センターへ申請書をご提出ください。

☎ 39・2020

イベント

ペットと楽しく暮らすための公開講座

動物病院では、いろいろな症状や検査結果などから病気を診断し治療しています。具体的な症例を用いて、病院に行く前や行った後に「飼い主にできることは何か」を一緒に勉強しませんか。（受講料無料）

日時 11月3日（土）

午後1時30分～3時30分

会場 新潟県動物愛護センター

講師 田ぐち動物病院院長 田

口啓子先生

定員 80名

【申】 新潟県動物愛護センター

☎ 21・5501

素敵なパートナーとの出会いをサポート

ながおか・若者・しごと機構主催の婚活イベント「ナガオカフイーリングプロジェクト」が長岡駅前で開催されます。

今回は対象年齢を拡大！美味しいお料理とお酒も楽しめます。

日時 11月25日（日）

午後4時～7時

秋の火災予防運動

『忘れてない？ サイフにスマホに火の確認』

期間＝11月9日（金）～15日（木）

暖房器具を使う機会が多くなる時期です！安全に使用して、火事に注意しましょう！

～暖房器具を安全に使う3つのポイント～

- ①暖房器具の周りに燃えやすい物を置かない。
- ②給油の時は火を消して、タンクのキャップはしっかり閉める。
- ③外出する時や寝る前は、必ず火を消す。

【問】 与板消防署予防係 ☎ 72・2572



会場 ル・ジャルダン（大手通1）
対象 35歳～49歳の独身者
定員 先着男女各15名
参加費 男性4500円、女性4000円（事前振込）
【申】 11月19日（月）までに
<http://feelingsproject.machinaka.biz/>で受付

NPO法人まちなか考房
☎ 36・3240

暮らしのカレンダー 11月

1	木	土砂災害Dメールテストメール発信
2	金	
3	土	文化の日 第35回たちばな健康マラソン大会
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	健康相談・身体測定（子育ての駅）
8	木	
9	金	お口の衛生相談室（子育ての駅）
10	土	
11	日	地域対抗スポーツ大会（ソフトバレーボール）
12	月	ほのぼ〜のカフェ「子どものおやつ作り」 （よいたコミセン）
13	火	
14	水	親子体操教室（子育ての駅）
15	木	離乳食相談会（子育ての駅）

16	金	
17	土	
18	日	資源物拠点回収（支所車庫棟） 作品展・バザー（保育園） チームわたしのよいた講演会「井伊直弼と幕末維新の彦根藩」（よいたコミセン）
19	月	テレビを消してごはんを食べようの日
20	火	赤ちゃん相談（与板保健センター）
21	水	
22	木	
23	金	勤労感謝の日
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	3歳児健康診査（三島保健センター）
30	金	お誕生会（子育ての駅）

健康ひとくちメモ 『発生率が減塩で減ったがん、脂肪で増えるがん』

がんの発生は、遺伝や家系という原因よりも、生活スタイルといった環境要因が80%関係しているとされています。特にたばこはその代表的なものであり、日頃の食生活もがんの発生に深く関係しています。

たとえば、胃がんは死亡率が減少しており、減塩運動が効果を上げたことがわかっています。逆に、近年増加傾向にある大腸がん、乳がん、前立腺がんは脂質摂取量の増加が関係あるとされています。国立がんセンターでは、野菜を1日400g食べることや、がんの発生リスクを分散させるため、特定の食品に偏らずバランスよく食べることを推奨しています。

また、一般的に高齢化とがんの発生には深い関係があり、歳をとるほどがんの発生率は高くなります。特に、肺がん、大腸がんは死亡率も増えています。「歳だからもうがん検診は受けなくてよい」ではなく、1年に1回は検診を受けましょう。



■納期限は10月31日（水）です

- 市・県民税 3期
- 国民健康保険料 4期
- 後期高齢者医療保険料 7期
- 介護保険料 7期

与板地域の人口（H30.10.1現在）※（）前月比			
世帯数	人口	男	女
2,271世帯 （±0）	6,417人 （-10）	3,158人 （-2）	3,259人 （-8）

※外国人世帯・人口を含む

自動車文庫「米百俵号」巡回日程

11月7日（水）

- 10:30~10:50 榎原農村センター
- 11:00~11:20 旧与板公民館黒川分館
- 11:30~12:00 ふれあい交流センター
- 13:10~14:00 与板幼稚園

11月8日（木）

- 13:10~14:00 与板小学校

11月12日（月）

- 13:00~13:20 本与板集会所
- 13:40~14:00 城山集会所